

## 四旬節第二主日

福音朗読 ルカ 9・28b-36

2022.3.13

カトリック高円寺教会  
主任司祭 吉池好高神父

今日はイエス様のご変容の場面が読まれました。

どうしてこの時期にイエス様のご変容のお姿をわたしたちに聖書は示しているのでしょうか。

言うまでもなく、イエス様が進み行かれる受難の道、それを照らす光が神様の栄光の雲の中からイエス様を照らしておられます。そして、それはその場にいた弟子たちには到底分かることではなかったことのように思いますが、この聖書の箇所を改めて読んでいくわたしたちには、そこに示されているイエス様のお姿がどのようなものであるのか、はっきり分かるように語られています。十字架の道を行くイエス様がお姿を通して示しておられる父なる神様の御心を行う者が放つことのできる光に包まれて、イエス様はそこにおられます。

弟子たちを連れて再び受難の道を歩み行かれるイエス様が、わたしたちにもその導きをお与えくださるように祈りたいと思います。

わたしたちが信じているイエス様がどのようなお方であるのか、そのイエス様の後について行くわたしたちの道がどのようなものであるのか、そのことを、今日のこのミサの中で再びしっかりとわたしたちの心に刻み付けていただきたいと思います。十字架の道を行かれるイエス様のお姿をしっかりとわたしたちの心に焼き付けていただけるように、このミサを捧げて共に祈りたいと思います。